

男子Dは鈴木・親松ペア

編集:山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年10月7日(水)

【タイムスケジュール】

6時～朝食
8時 ホテル出発(送迎バス)
9時 国立体育大学到着
10時～15時 試合・表彰式
16時 ホテル到着、洗濯、買い出し、夕食等

梶下コーチコメント

男子ダブルス決勝 優勝 親松・鈴木、準優勝 松下・梶下 でした。
シードが抜け男子ダブルスは4ヶ国でてないということで、表彰式はありましたが、メダルはなく賞状のみとなりました。女子ダブルスは昨日銅メダルを手に入れています！
ミックスダブルスの親松・村山は台北チームに破れ準優勝、3位に梶下・山口でした。
優勝した台北チームは2人とも技術が高く手も足も出ない感じでした！ミックスダブルスは、銀メダル1個、銅メダル1個でした。健闘したと思います。
村山選手も大変いい経験ができた、と話していました。今日の試合から台北と日本選手だけの戦いです！
男子はオール日本、女子はオール台北で、ミックスが台北と日本です。
明日は男子シングルス日本、女子シングルス台北で始まります！

【試合】 結果・選手コメント

男子ダブルス決勝

○鈴木裕将&親松直人 2-0(7-5, 6-0) ●梶下怜紀&松下哲也

<鈴木選手コメント>

お互い持っている武器の良さが出て、息の合ったプレーが出来た結果だと思います。

<親松選手コメント>

1セット目は自分のサービスゲームを2つ落としたために、競った。2セット目はしっかりキープしてお互いの役割を果たせたのがよかった。

<梶下選手コメント>

1セット目リードしていたところまではよかったが、そこから消極的になった。次へのポイントのことを考えることができなかったのが敗因です。

<松下選手コメント>

自分のパフォーマンスに腹が立ちました。



鈴木・親松 vs 梶下・松下



男子ダブルス 表彰式

ミックスダブルス

●親松直人&村山奈留美 0-2(1-6, 0-6) ●WANG & HO (台湾)

＜親松選手コメント＞

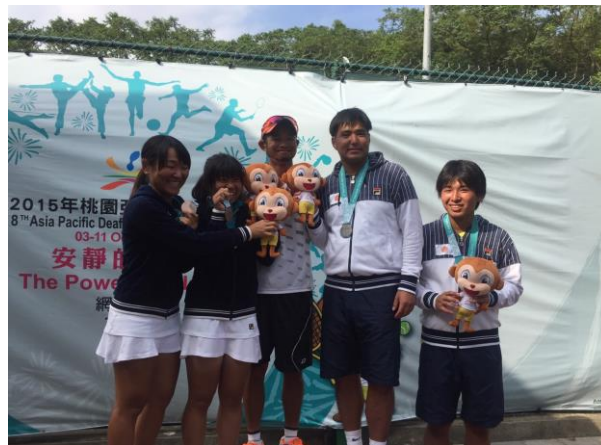
完敗です。自分のことで精一杯で、ペアのカバーも出来なかった。もっと余裕をもってまわりを見れるようにするべきだった。1-6, 0-6 これが現実ですね。デフリンピックに向けて、練習を積んでいきたい。

＜村山選手コメント＞

今大会で、初めて強い相手だと感じた。球の早さもパワーも強かった。それに対してきちんと返すことが出来なかったのが悔しい。同時に、これが世界大会なんだと実感した試合だった。そういう経験ができたのは恵まれていると思った。球をきちんと返すだけではなく、攻撃につなげられるよう、次回はリベンジしたい。



親松・村山 vs Wang・Ho(台湾)



ミックスダブルス 表彰式

斎藤監督のコメント

男子ダブルスの決勝はお互い日本人ペアでした。

ミックスダブルスでは金を取りたかったが、相手はトップのペアでいざ試合が始まるとレベルの差は大きかった。デフリンピックで金メダルをとることは難しいと改めて思い知った。

このアジア大会までの間積み重ねてきた練習の何倍も努力しなくてはならない。

明日の男子シングルス決勝も日本人同士の対決です。他の選手は練習します。せっかく台湾まで来たのだから、試合で学んだことを忘れないうちに練習します！